

まちの姿 2

ひと “いきいき”

分野4 地域コミュニティ

分野5 高齢者福祉

分野6 障がい者福祉

分野7 健康・医療



地域コミュニティ



目指す姿

自分の住む地域の特色を知り、持続可能な地域づくりに主体的に参加することで、誰もが互いに支え合いいきいきと暮らしています。

さつま町のいま

- 持続可能な地域づくりに向けて、地域活動への支援やボランティアの育成、町民の声を反映するまちづくりを進めています。
- 地域のつながりの弱体化などにより、地域で課題を解決する力が弱まっています。
- 「支え手」「受け手」といった関係を超えてともに生きる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが必要です。

進捗管理指標

- 公民会加入率
- ボランティアマッチング数
- お助け隊設置数

関連計画

- いのちを支える対策推進計画
- 過疎地域持続的発展計画
- 教育振興基本計画
- さつま町建設計画
- 地域福祉計画・地域福祉活動計画
- DX推進計画

成果指標

	R6	R12
地域活動に関心がある町民の割合	63.0%	70.0%
助け合う・支え合う意識が広がっていると思う町民の割合※	40.7%	70.0%

※地域福祉計画策定にかかるアンケート調査より



施策の方向性

1 持続可能な地域づくりを進めます

- 広報紙やホームページを通じた情報発信など、地域づくりやSDGsにかかわる情報を多くの人に知ってもらう取り組みを進めます。
- 移住者や地域おこし協力隊などとの交流やつながりを通じて、地域活動への参加促進に取り組みます。
- 町内で活動するボランティア団体などの関係機関と連携し、地域の課題解決に向けた協力体制を構築します。
- 地域の枠組みを超えた連携や機能の見直しなど、コミュニティ機能の維持に向けて、各地域の実情を踏まえながら検討を行います。

まちのみんなのできること

- SDGsについて理解を深め、地域の人々で持続可能なまちづくりに取り組みましょう。
- 地域の一員として、地域活動へ協力することで、自分には何ができるか考えてみましょう。

施策の方向性

2 町民主体の地域づくりを推進します

- 町民の「やってみたい!」と思う活動を実現できるように、地域活動に関する支援を行います。
- 地域で暮らす町民の思いを反映した、特色ある地域づくりを進めます。
- 町民と地域、団体、事業者、高校・大学などの多様な主体による協働のまちづくりを推進します。

まちのみんなのできること

- 自分の住む地域の理解を深め、地域のルールを守りましょう。
- 新たに地域に移り住む人をあたたかく迎え、交流を深めましょう。

施策の方向性

3 地域での支え合い意識をはぐくみます

- 互いに支え合い安心して暮らせる地域をつくるため、多様な主体が連携しながら地域福祉を推進します。
- 関係機関や団体と地域との連携を強化し、生活困窮者やヤングケアラー、引きこもりなど、困難を抱えている人を支援します。
- 福祉や防災に関する地域の担い手育成や幅広い世代の参加促進に取り組みます。

まちのみんなのできること

- 隣近所で声をかけあい、日頃からのつながりをつくりましょう。
- 企業や団体での地域貢献活動に参加しましょう。

用語解説

ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話を日常的に行っていること。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。

高齢者福祉



目指す姿

高齢者支援の充実と地域の見守りにより、
高齢者や支える人が望んだ場所で安心していきいきと暮らしています。

さつま町のいま

- 高齢者が健康にいきいきと暮らすことができるよう、生きがいづくりや介護保険の安定した運営に努めています。
- 今後も高齢者は増加することが予想され、介護予防などの住み慣れた地域で安心して暮らせる取り組みのほか、重度化防止や適切な支援を受けることができる体制づくりが必要です。

成果指標



※参考値：町民アンケート「高齢者や障がい者が暮らしやすい」と思う住民の割合



進捗管理指標

- ころばん体操実施団体数
- 要介護認定率
- 認知症サポーター養成講座受講者数

関連計画

- 過疎地域持続的発展計画
- 健康さつま 21
- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- さつま町建設計画
- 地域福祉計画・地域福祉活動計画
- DX推進計画
- データヘルス計画

施策の方向性

1

高齢になってもいきいきと暮らせる環境を整えます

- 高齢者クラブやサロンなど、地域の身近な場所で交流や介護予防に取り組める環境づくりを支援します。
- 高齢者の就労やボランティア活動などの社会参画を支援し、生きがいづくりと地域の担い手確保に取り組みます。

まちのみんなのできること

- 地域のサロンなどに参加し、活力ある生活習慣を守りましょう。
- 趣味や仕事、ボランティアなど、生きがいを持ちましょう。

施策の方向性

2

高齢者とその家族を地域全体で支える体制をつくります

- 見守りが必要な高齢者を把握し、地域の団体や関係機関が連携しながら見守りや支援を行う体制づくりを進めます。
- 認知症になっても地域での生活を継続できるよう、認知症の方とその家族への支援体制の充実や、認知症について周知・啓発を進めます。
- 介護をしている家族が、本人の生活と介護を両立することができるよう、介護者の負担軽減に向けた取り組みを進めます。

まちのみんなのできること

- 地域の人々であいさつを交わし、気になることがあれば声をかけたり、行政に相談しましょう。
- 見守りや声かけなど、地域全体で高齢者を気づかしましょう。

施策の方向性

3

地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて取り組みます

- 介護保険サービスや高齢者福祉サービスについて、サービス内容の周知と適正な利用を推進するとともに、担い手の確保に取り組みます。
- 高齢者を地域全体で支える体制をつくるため、保健・医療・介護・福祉分野の連携を強化し、情報共有や支援を行います。

まちのみんなのできること

- 介護サービスや在宅介護・医療について理解し、適切に利用しましょう。

障がい者福祉



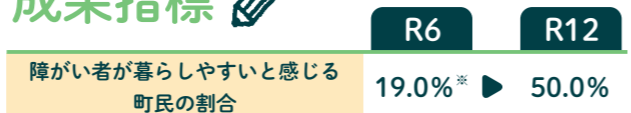
目指す姿

安定したサービスと社会参加ができる環境の整備により、障がいのある人や支える人が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしています。

さつま町のいま

- 障がいのある人が自立した生活を送ることができるよう、関係機関が連携した支援体制づくりを進めています。
- 障がいの有無にかかわらず、地域や社会に参画し、活躍できるよう、一人ひとりのニーズに応じた支援体制づくりや、地域における障がいについての理解を深めていく必要があります。

成果指標



*参考値：町民アンケート「高齢者や障がい者が暮らしやすい」と思う住民の割合



進捗管理指標

- 障がい福祉に関する啓発回数
- さつま町・ふくしまルシェの開催回数

関連計画

- 過疎地域持続的発展計画
- さつま町建設計画
- 障がい者計画
- 障がい福祉計画・障がい児福祉計画
- 障がい者活躍推進計画
- 地域福祉計画・地域福祉活動計画
- DX推進計画

施策の方向性

1 障がい福祉サービスを適切に提供します

- 障がいのある人が安心して暮らすことができるよう、相談から伴走的な支援、権利擁護など、一貫したサービス提供体制をつくります。
- 一人ひとりの意向に沿った就労や地域活動への参加ができるよう、関係機関の連携のもとで社会参画に向けた支援を行います。

まちのみんなのできること

- サービスの利用や日々の生活で困りごとがあれば、相談しましょう。
- 障がい福祉に関する支援を行う関係機関や団体で連携を強化しましょう。

施策の方向性

2 障がい福祉への理解を深めます

- 福祉教育や啓発を通じて、障がいの有無にかかわらず、地域でともに生きる意識を醸成します。
- 障がいのある人やその家族の団体など、地域で活動している団体を支援するとともに、地域の交流を促進します。

まちのみんなのできること

- 障がいについて理解を深め、ともに生きる心を持ちましょう。
- 障がいの有無にかかわらず、イベントやスポーツを通じて交流しましょう。

施策の方向性

3 障がいのあるこどもの健やかな成長を支えます

- 乳幼児健診などを通じた障がいの早期発見と支援、医療的ケア児支援など、障がいのあるこどもと保護者の成長と暮らしを支援します。
- 教育分野や発達支援センター等と連携し、障がいのあるこどもの成長と学びに関する切れ目ない支援を行います。

まちのみんなのできること

- こどもの発達で気になることがあれば、関係機関に相談しましょう。

用語解説

さつま町・ふくしまルシェ：障がいのある人や福祉関係事業所（団体）への理解や交流を目的として、障がいのある人が生産した野菜や加工品を販売するイベント。
 医療的ケア児：日常生活や社会での生活において、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

健康・医療



目指す姿

健康づくり活動を通じて、一人ひとりが自らの健康を意識し、誰もが健康でいきいきと暮らしています。

さつま町のいま

- 特定健診やがん検診の実施、健康さつまポイント事業などを通じて、疾病の早期発見・早期治療、健康意識の醸成を進めています。
- 高齢者の増加による医療費の増加や、若い世代の特定健診受診率の低下が課題となっています。
- 一人ひとりの健康管理や運動の実践など、予防の視点も踏まえた取り組みが必要です。

- 進捗管理指標**
- がん検診受診率 (胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)
 - 特定健診受診率
 - ゲートキーパー養成講座受講者延べ人数

成果指標

	R6	R12
普段健康だと思う町民の割合	64.7%	▶ 70.0%

関連計画

- いのちを支える対策推進計画
- 過疎地域持続的発展計画
- 健康さつま 21
- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- 子ども・子育て支援事業計画
- さつま町建設計画
- 障がい者計画
- 障がい福祉計画・障がい児福祉計画
- 食育・地産地消推進計画
- 新型インフルエンザ等対策行動計画
- DX推進計画



施策の方向性

1

一人ひとりの健康への意識を高めます

- 幅広い世代が気軽に健康づくりに取り組める機会や環境をつくれます。
- 健康づくりに取り組む地域活動への支援や、講師や専門職職員の派遣を通じて、健康意識の醸成を進めます。

まちのみんなのできること

- 自らの健康を気をつけ、規則正しい生活習慣を心がけましょう。
- 地域の健康づくり活動に参加しましょう。

施策の方向性

2

健康的な暮らしを支援する体制をつくります

- 各種検(健)診や保健指導を実施するとともに、受診率向上に向けて周知を行います。
- 心の健康保持や自殺対策の推進に向けて、相談支援や地域での周知・啓発を行います。
- 心の健康に関する情報発信や相談窓口の周知、ゲートキーパーの養成を通じて、悩みを抱えた人を孤立させない体制づくりを進めます。

まちのみんなのできること

- 各種検(健)診や人間ドックを受け、自分のからだの状態を把握し、早期発見・早期治療を心がけましょう。
- 悩みごとや不安を抱え込まず、周囲や相談窓口に話してみよう。

施策の方向性

3

安心できる医療体制を構築します

- 医療機関をはじめとする関係機関の連携を強化し、地域の医療機能の維持に取り組みます。
- 救急・休日・夜間における救急医療体制の確保に取り組みます。

まちのみんなのできること

- かかりつけ医を持ち、適正な受診を心がけましょう。

用語解説

ゲートキーパー：寄り添いや関わりを通して「孤独・孤立」を防ぎ、悩みの深刻化や自殺を防ぐ人のこと。特別な研修や資格は必要なく、「変化に気づく」「じっくりと耳を傾ける」「支援先につなげる」「温かく見守る」などの心がけを持つことで誰もがその役割を担うことができる。